

HPバージョンコントロール エージェント



製品番号 : 367262-191

2004年11月, 8 版

©Copyright 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

目次

製品概要	4
追加資料	5
関連トピック	5
法的な注意事項	5
保証	5
制限つき権利の一覧	5
著作権表示	6
商標表示	6
リリース履歴	6
ライセンス	6
ソフトウェア ライセンス	6
HPバージョン コントロール エージェント - 他社製品のライセンス	7
関連トピック	7
Apache	7
Apache License 2.0	7
関連トピック	10
GNU	10
GNU General Public License	10
GNU Lesser General Public License	13
関連トピック	18
開始するには	19
手順	19
関連トピック	19
ログイン	19
Windows用のHPバージョン コントロール エージェントへのログイン	20
Linux用のHPバージョン コントロール エージェントへのログイン	21
関連トピック	21
ログアウト	21
HPバージョン コントロール エージェントからのログアウト	21
関連トピック	22
ソフトウェアのナビゲート	23
関連トピック	23
ホーム	23
関連手順	23
関連トピック	24
全体のソフトウェア ステータス	24
手順	24
関連トピック	24
全体のソフトウェア ステータス アイコン	25
関連トピック	26
インストールされているソフトウェアの表示	26
関連トピック	28
ProLiant Support Packの詳細	28
関連トピック	28
リファレンス サポート パック	28
関連手順	28
関連トピック	29
ソフトウェアの表示/非表示	29
関連トピック	29
エージェント設定の変更	29
関連トピック	31

ソフトウェアの更新	31
関連トピック	32
インベントリ データのリフレッシュ	32
関連トピック	32
ソフトウェア ステータスの印刷	32
ソフトウェア ステータスの印刷	32
関連トピック	33
ログ	33
手順	33
関連トピック	33
ログの表示	33
関連トピック	34
単一のログ エントリの詳細表示	34
関連トピック	35
ログの消去	35
関連トピック	36
ログの設定の変更	36
関連トピック	37
トラブルシューティング	38
HPバージョン コントロール エージェント	38
HP Systems Insight Managerの問題	38
ログの問題	39
エージェント設定のレプリケートの問題	40
レポジトリの問題	41
ソフトウェア インベントリの問題	41
HPバージョン コントロール レポジトリ マネージャ	43
アクセスの問題	43
ブラウザの問題	44
カタログの問題	45
ProLiant Support Packの問題	45
その他の問題	46
サービスおよびサポート	48
サービスおよびサポート	48
Windows 2000/NTイベント	48
関連トピック	49
用語集	50
索引	53

製品概要

HPバージョンコントロールエージェントは、ユーザが、システムにインストールされたHPのソフトウェアおよびファームウェアを確認できるように、システムにインストールされるHP Insightマネジメントエージェントです。バージョンコントロールエージェントは、HPバージョンコントロールレポジトリマネージャに管理されているレポジトリを参照するように設定できるため、バージョンの比較およびバージョンコントロールエージェントがインストールされているシステムへの、レポジトリからのソフトウェアの更新が簡単になります。

バージョンコントロールエージェントは、単一のHP製システム用のバージョンコントロールおよびシステム更新機能を提供します。バージョンコントロールエージェントは、ローカルシステムにインストールされている各コンポーネントを、個別のコンポーネントのセットまたはバージョンコントロールレポジトリマネージャにリストされている指定されたProLiant Support Packと比較して、システムのソフトウェアステータスを判定します。また、システムソフトウェアステータスアイコンの横にあるインストールアイコンをクリックすることによって、個々のコンポーネントまたはProLiant Support Pack全体を更新することもできます。

バージョンコントロールレポジトリマネージャとバージョンコントロールエージェントは、ProLiant Essentials Foundation Packに含まれる標準の単一サーバ管理ツールのシステムマネジメントホームページに統合されます。また、ProLiant Essentials Foundation Packに含まれているHP Systems Insight Managerは、バージョンコントロールレポジトリマネージャとバージョンコントロールエージェントを使用して、ソフトウェアのバージョン管理、更新、およびソフトウェアに関連するタスクを簡素化します。

バージョンコントロールエージェントは、WindowsおよびLinuxオペレーティングシステムで利用できます。バージョンコントロールエージェントは、システムマネジメントホームページに統合されています。システムマネジメントホームページは、バージョンコントロールエージェントがインストールされているシステムの利用可能なソフトウェアのインベントリを表示するように設計されています。また、バージョンコントロールエージェントは、バージョンコントロールレポジトリマネージャによって管理されるレポジトリから、システムソフトウェアのインストール、比較、および更新を行うことができます。

管理者またはオペレータの権限を持つユーザは、バージョンコントロールエージェントにアクセスして、システムのソフトウェアインベントリを手動で維持管理できます。コンポーネントのインストールや設定の変更は、システムのログファイルに記録されます。バージョンコントロールエージェントログには、ソフトウェアのインストールなどの操作が記録されますが、バージョンコントロールエージェントが存在しないシステムで実行されたインストールは、このログに記録されません。

バージョンコントロールエージェントを使って、選択したHP製デバイスにインストールされているソフトウェアや利用可能なアップデートを表示したり、インストールされているソフトウェアが、選択したレポジトリ内の最新のアップデートと同じかどうかを表示したりすることができます。さらに、バージョンコントロールエージェントのブラウザインタフェースを使って、リモートからシステムにHPのソフトウェアを追加したり更新したりすることができます。

HP Systems Insight Managerのエージェント設定のレプリケート機能を使用すると、バージョンコントロールエージェントの設定によって複数のサーバを更新できます。[エージェント設定のレプリケート]機能について詳しくは、HP Systems Insight Managerのオンラインヘルプを参照してください。

バージョンコントロールエージェントでは、次のタスクを実行できます。

- 「インストールされているソフトウェアの表示」の項 [26] 現在インストールされているソフトウェアの表示

- 「エージェント設定の変更」の項 [29] ソフトウェア アップデートを取得するためのリファレンス ポイントとしてのバージョン コントロール レポジトリ マネージャの選択
- 「全体のソフトウェア ステータス」の項 [24] 管理対象ベースラインとしてのProLiant Support Packの選択
- 「ProLiant Support Packの詳細」の項 [28] バージョン コントロールレポジトリにあるProLiant Support Packまたは個別のソフトウェア コンポーネントの詳細の表示
- 「ソフトウェアの更新」の項 [31] バージョン コントロールレポジトリからのProLiant Support Packまたは個々のソフトウェア コンポーネントのインストール
- 「ソフトウェア ステータスの印刷」の項 [32] インストール済みソフトウェア インベントリおよびソフトウェア ステータスの印刷
- 「ログの表示」の項 [33] バージョン コントロール エージェントログの表示
- 「ログの消去」の項 [35] バージョン コントロール エージェントログの消去
- 「ログの設定の変更」の項 [36] 古いエントリを自動的に削除するようにログを設定し、管理者のメンテナンス作業を軽減
- 「ログの設定の変更」の項 [36] ログの設定の変更

システムのソフトウェア インベントリの維持管理に加えて、バージョンコントロールエージェントは、HP Systems Insight Managerに統合されます。この統合により、管理者は、エージェントのソフトウェア更新機能を利用できます。

追加資料

追加資料は、HPのWebサイト<http://www.hp.com/jp/servers/manage/>に掲載されています。

関連トピック

- ホーム [23]

法的な注意事項

機密コンピュータ ソフトウェアです。所有、使用、コピーには、有効なライセンスをHPから取得する必要があります。FAR 12.211と12.212に準拠して、商用コンピュータ ソフトウェア、コンピュータ ソフトウェア文書、商用項目の技術データは、ベンダの標準商用ライセンスで米国政府にライセンス供与されます。

ここに掲載されている情報は、通知することなく変更されることがあります。HP製品とサービスの唯一の保証は、製品とサービスに付属する、明示的な保証声明で規定されます。ここに掲載される情報は、その他の保証を構成するものとして解釈されません。HPは、ここに含まれる、技術的または編集上の誤りや不作為の責任を負いません。

保証

HP製品に適用される特定保証条項の複写、および交換部品は、最寄の販売保守事務所から入手できます。

制限つき権利の一覧

米国政府による使用、複製、開示は、DOD機関用のDFARS 252.227-7013に記述されているRights in Technical Data and Computer Software条項のサブパラグラフ (c) (1) (ii)、およびその他の機関用のFAR 52.227-19に記述されているCommercial Computer Software Restricted Rights条項のサブパラグラフ (c) (1) と (c) (2) に規定されている制限を受けます。

HEWLETT-PACKARD COMPANY
3000 Hanover Street
Palo Alto, California 94304 U.S.A.

このパックで提供される、この文書とすべての支援ソフトウェアメディアの使用は、この製品のみに制限されます。プログラムのコピーは、セキュリティとバックアップのみを目的として作成できます。現在の形式で、または変更してプログラムを再販売することは、明示的に禁止されています。

著作権表示

© Copyright 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標表示

すべてのHP 9000コンピュータのHP-UX Release 10.20以上とHP-UX Release 11.00以上（32ビット設定と64ビット設定の両方）は、Open Group UNIX 95ブランド製品です。

Intel、Celeron、Itanium、Pentium、Xeonは、米国とその他の諸国における、Intel Corporationまたはその関連会社の商標または登録商標です。

Javaは、米国における、Sun Microsystems社の商標です。

Linuxは、米国における、Linus Torvaldsの登録商標です。

Microsoft、Windows、およびWindows NTは、米国における、Microsoft Corporationの登録商標です。

UNIXは、The Open Groupの登録商標です。

リリース履歴

バージョン2.1、2004年11月

新バージョンが使用可能になったときに新バージョンを受け取るため、適切な製品サポートサービスを受けてください。詳細については、HP販売担当者に問い合わせてください。

ライセンス

ソフトウェア ライセンス

HPバージョンコントロールエージェントには、次の表に示した他社製のオープンソースおよび私有ソフトウェアが含まれています。厳密には、開発され取得したコードは、次に記載されたライセンスされたAncillary Softwareから構成されています。インストール、コピー、または製品（エンドユーザライセンス契約書に定義されている）を使用することは、条項をレビューしたか否かに関わらず、Ancillary Softwareライセンスの条項に受諾し成立したものとみなされます。

HPバージョン コントロール エージェント - 他社製品のライセンス

ライセンス済みの補助ソフトウェア	他社製品
Xerces	The Apache Software Foundation - <ul style="list-style-type: none"> • http://www.apache.org (http://www.apache.org)
Xalan	The Apache Software Foundation - <ul style="list-style-type: none"> • http://www.apache.org (http://www.apache.org)
Gcc v3.2 (Linuxバージョンのみ)	The GNU Project - <ul style="list-style-type: none"> • http://www.gnu.org (http://www.gnu.org)

関連トピック

- Apache [7]
- GNU [10]

Apache

Apache License 2.0

January 2004

<http://www.apache.org>

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.
3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
 - a. You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
 - b. You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
 - c. You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

- d. If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

関連トピック

- ライセンス [6]
- GNU [10]

GNU

GNU General Public License

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you". Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
 - a. You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
 - b. You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
 - c. If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it. Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

4. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:
 - a. Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange;

or
 - b. Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

or
 - c. Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received

the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
6. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
7. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.
8. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

9. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
10. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
11. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

12. Because the program is licensed free of charge, there is no warranty for the program, to the extent permitted by applicable law. Except when otherwise stated in writing, the copyright holders and/or other parties provide the program "as is" without warranty of any kind, either expressed or implied, including, but not limited to, the implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose. The entire risk as to the quality and performance of the program is with you. Should the program prove defective, you assume the cost of all necessary servicing, repair or correction.
13. In no event, unless required by applicable law or agreed to in writing, will any copyright holder or any other party who may modify and/or redistribute the program as permitted above, be liable to you for damages, including any general, special, incidental or consequential damages arising out of the use or inability to use the program (including but not limited to loss of data or data being rendered inaccurate or losses sustained by you or third parties or a failure of the program to operate with any other programs), even if such holder or other party has been advised of the possibility of such damages.

END OF TERMS AND CONDITIONS

GNU Lesser General Public License

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
 - a. The modified work must itself be a software library.
 - b. You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
 - c. You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
 - d. If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy. This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License. However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law. If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.
 - a. Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
 - b. Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
 - c. Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
 - d. If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
 - e. Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy. For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:
 - a. Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
 - b. Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.
10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein.

You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances. It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation.

If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

関連トピック

- ライセンス [6]
- Apache [7]

開始するには

HPバージョンコントロールレポジトリマネージャとHPバージョンコントロールエージェントの使用を開始するには、ご使用のマシンを正しくインストールして設定するための下記の手順に従ってください。

1. ご使用のシステムが最小要件を満たしていることを確認します。最小要件について詳しくは、『バージョンコントロールインストールガイド』を参照してください。
2. システムマネージメントホームページをインストールして設定します。システムマネージメントホームページについて詳しくは、『システムマネージメントホームページインストールガイド』を参照してください。
3. ProLiant Support Packを使用して、バージョンコントロールエージェントをインストールするサーバからアクセス可能なマシンに、バージョンコントロールレポジトリマネージャをインストールして設定します。1つのバージョンコントロールレポジトリマネージャによって多数のバージョンコントロールエージェントがサポートされるため、ほとんどの場合、レポジトリは1つしか必要ありません。ただし、大企業や広範囲に分散している企業については、複数のレポジトリが必要になる場合があります。
4. ターゲットシステムに、バージョンコントロールエージェントをインストールして設定します。バージョンコントロールエージェントをインストールする前にバージョンコントロールレポジトリマネージャをインストールすると、バージョンコントロールエージェントの[エージェント設定の変更]リンクから指定したレポジトリのデータを使用するようにバージョンコントロールエージェントを設定できます。バージョンコントロールレポジトリマネージャのインストールについて詳しくは、『バージョンコントロールインストールガイド』を参照してください。
5. **https://ホスト名:2381**にあるシステムマネージメントホームページをブラウザして、ログインします。
6. バージョンコントロールエージェントが[エージェント設定の変更]リンクによって定義されたレポジトリによって提供されるデータを使うように設定します。

手順

- エージェント設定の変更 [29]
- ソフトウェアの更新 [31]
- インストールされているソフトウェアの表示 [26]

関連トピック

- ホーム [23]
- ログ [33]
- 全体のソフトウェアステータスアイコン [25]

ログイン

任意のネットワーククライアントから、Webブラウザを使用して、HPバージョンコントロールエージェントのグラフィカルユーザインタフェース（GUI）にアクセスします。サポート

されているブラウザについては、『バージョン コントロール インストール ガイド』を参照してください。

重要



HPバージョンコントロールレポジトリ マネージャが設定されていない場合は、現在システムにインストールされているソフトウェア インベントリとファームウェア インベントリだけが[ホーム]ページに表示されます。バージョン コントロール エージェント設定は、必ずすべての機能を設定してください。

重要



Windowsオペレーティング システムからインベントリ データを取得するには、バージョン5.40以降のバージョンのHP Insightマネジメント エージェントをインストールしてください。Linuxオペレーティングシステムからインベントリ データを取得するには、バージョン7.0以降のバージョンのRed Hat Package Manager (RPM) をインストールしてください。バージョン コントロール エージェントと同じSupport Packに含まれている、最新バージョンの基本エージェントをインストールすることをおすすめします。

注



Insightマネジメントエージェントがインストールされていない場合、バージョンコントロールエージェントでソフトウェア インベントリを収集できません(ただし、ソフトウェアのインストールに使うことはできます)。

注



システム マネジメント ホームページで定義されている管理者またはオペレータの権限を持つログイン アカウントは、バージョン コントロール エージェントのすべての機能にアクセスできます。

Windows用のHPバージョン コントロール エージェントへのログイン

GUIにログインするには、以下の手順に従ってください。

1. バージョン コントロール エージェントにアクセスして、使用できるすべての機能にアクセスするには、[管理者]または[オペレータ] レベルのアクセス権でシステム マネジメント ホームページにログインする必要があります。

2. **http://ホスト名:2381**にナビゲートします。Anonymousアクセスが無効になっている場合、[ログイン]ページが表示されます。Anonymousアクセスが有効になっている場合、[システム マネジメント ホームページ]ページが表示されます。
3. ログインすると、[システム マネジメント ホームページ]が表示されます。
4. [バージョン コントロール エージェント]アイコンをクリックします。[バージョン コントロール エージェントホーム]ページが表示されます。

Linux用のHPバージョン コントロール エージェントへのログイン

Linuxオペレーティングシステム上のバージョン コントロール エージェントにアクセスするには、以下の手順に従ってください。

1. **http://ホスト名:2381**または**http://ホスト名:2301**にナビゲートします。

Anonymousアクセスが無効になっている場合、[ログイン]ページが表示されます。

Anonymousアクセスが有効になっている場合、[システム マネジメント ホームページ]が表示されます。
2. ログインが完了すると、ブラウザのアドレス フィールドに**http://ホスト名:2381/vcagent**と入力してバージョンコントロールエージェントを直接ブラウズできます。また、システム マネジメント ホームページから[Integrated Agents]の下バージョンコントロール エージェントリンクをクリックして、新しいブラウザ ウィンドウで開くこともできます。また、[ホーム]タブの[Version Control]ステータス ボックスからもアクセスできます。[バージョン コントロール エージェントホーム] ページが表示されます。

関連トピック

- 開始するには [19]
- ログアウト [21]

ログアウト

HPバージョン コントロール エージェントからのログアウト

システム マネジメント ホームページおよびHPバージョン コントロール エージェントでは、約15分間何もしないと、自動的にログアウトします。

ログインするには、以下の手順に従ってください。

1. システム マネジメント ホームページをブラウズします。バージョン コントロール エージェントバナーの[サーバ名]ホームページ リンクをクリックします。
2. 右上隅にあるログアウト リンクをクリックします。
3. Webブラウザを閉じます。

関連トピック

- ログイン [19]

ソフトウェアのナビゲート

HPバージョンコントロール エージェントは、タブの付いたページを簡単にナビゲートできるインタフェースを提供します。

- 「ホーム」の項 [23]
- 「ログ」の項 [33]

関連トピック

- 全体のソフトウェア ステータス アイコン [25]
- ホーム [23]
- ログ [33]

ホーム

[ホーム]ページには、現在インストールされているHPのソフトウェアとバージョンが表示されます。[ホーム] ページの内容は、HPバージョン コントロール レポジトリ マネージャの設定に依存します。バージョンコントロール レポジトリ マネージャとリファレンス サポート パック システム マネジメント ホーム ページの設定については、「エージェント設定の変更」の項[29]を参照してください。

ホーム ページでは、以下の機能を実行できます。

- 「全体のソフトウェア ステータス」の項 [24]
- 「全体のソフトウェア ステータス アイコン」の項 [25]
- 「インストールされているソフトウェアの表示」の項 [26]
- 「ProLiant Support Packの詳細」の項 [28]
- 「リファレンス サポート パック」の項 [28]
- 「ソフトウェアの表示/非表示」の項 [29]
- 「エージェント設定の変更」の項 [29]
- 「ソフトウェアの更新」の項 [31]
- 「インベントリ データのリフレッシュ」の項 [32]
- 「ソフトウェア ステータスの印刷」の項 [32]

関連手順

- ログイン [19]
- ログアウト [21]

関連トピック

- 全体のソフトウェア ステータス アイコン [25]
- ライセンス [6]
- 全体のソフトウェア ステータス [24]

全体のソフトウェア ステータス

[エージェント設定の変更]リンクを使用してHPバージョンコントロールレポジトリ マネージャが設定されるまで、[全体のソフトウェア ステータス]のアイコンは表示されません。レポジトリが設定されると、[全体のソフトウェア ステータス]のアイコンは、インストールされたソフトウェアまたはファームウェアのバージョンと設定されたバージョン コントロール レポジトリ マネージャで利用できる最新のコンポーネントの比較に基づいて表示されます。全体のソフトウェア ステータスは、[エージェント設定の変更]リンクを使用して定義される構成に応じて表示されます。Windowsオペレーティングシステムでは、サーバソフトウェアのバージョンがリファレンス サポート パックのバージョンと一致しない場合、重大なステータスを表示するために[全体のソフトウェア ステータス]を設定することができます。レポジトリとリファレンス サポート パックの両方が設定されている場合、[全体のソフトウェア ステータス]のアイコンは、インストールされたソフトウェアまたはファームウェアのバージョンとリファレンス サポート パック内のソフトウェアまたはファームウェアのバージョンの比較に基づいて表示されます。

[全体のソフトウェア ステータス]のアイコンについて詳しくは、「全体のソフトウェア ステータス アイコン」の項 [25]を参照してください。

重要



ソフトウェアのステータスは、インストールされたソフトウェアとレポジトリ内のソフトウェアの比較に基づいています。レポジトリ内に比較するソフトウェアがない場合、ステータスは最新とみなされます。[エージェント設定の変更]リンクを使用して、サーバソフトウェアのバージョンがリファレンス サポート パックのバージョンと一致しない場合、重大と表示するためにソフトウェア ステータスを設定することができます。

全体のソフトウェア ステータスを表示するには、[ホーム]タブをクリックします。[ホーム]ページが表示されます。

手順

- エージェント設定の変更 [29]
- ソフトウェアの更新 [31]

関連トピック

- 全体のソフトウェア ステータス アイコン [25]
- ソフトウェアのナビゲート [23]

全体のソフトウェア ステータス アイコン

注




[全体のソフトウェア ステータス]のアイコンをクリックするとHPバージョン コントロール エージェントにアクセスできます。バージョン コントロール エージェントにアクセスできない場合は、そのシステムでバージョン コントロール エージェントまたは信頼関係を設定する方法を示すヘルプが表示されます。

注






HP-UX以外のすべてのシステムについて、[全体のソフトウェア ステータス]のアイコンが用意されています。


このステータスは、インストールされたバージョンとレポジトリ内のバージョンの比較に基づいて表示されます。




-  不明 [不明]ステータス アイコンは、以下のような異なるいくつかの理由で表示されます。
 - バージョン コントロール エージェントに、HPバージョン コントロール レポジトリ マネージャの設定がないため。
 - 設定されたバージョンコントロールレポジトリ マネージャが到達しないか、HTTPリクエストに応答しないため。たとえば、システムまたはサービスがダウンしているかパスワードが変更されている場合など。

リファレンス サポート パックが設定されていない場合、ステータスの値は設定されます。




-  正常 インストールされているソフトウェアのバージョンは、バージョン コントロール レポジトリ マネージャで利用可能な最新のバージョンと同じか新しい。
-  マイナー このアップデートには、バグ フィックスまたは新しいハードウェア サポートが含まれている可能性があります。このバージョンに関する情報を確認し、このアップデートを適切に適用することをおすすめします。
-  メジャー このアップデートには、重大なバグ フィックスが含まれています。できるだけ早くこのアップデートを適用してください。

リファレンス サポート パックが設定されている場合、ステータスの値は設定されますが、正確なマッチ設定は選択されません。

-  不明 バージョン コントロール エージェントで設定されたリファレンス サポート パックは、すでに設定されたバージョン コントロール レポジトリ マネージャでは無効です。

-  正常インストールされたソフトウェアバージョンは、リファレンス サポート パックのバージョンと同じか新しい。
-  マイナー このアップデートには、バグ フィックスまたは新しいハードウェア サポートが含まれている可能性があります。このバージョンに関する情報を確認し、このアップデートを適切に適用することをおすすめします。
-  メジャー このアップデートには、重大なバグ フィックスが含まれています。できるだけ早くこのアップデートを適用してください。

リファレンス サポート パックが設定されている場合、ステータスの値は設定され、正確なマッチ設定は選択されます。

-  不明 バージョン コントロール エージェントで設定されたリファレンス サポート パックは、すでに設定されたバージョン コントロール レポジトリ マネージャでは無効です。
-  正常インストールされたソフトウェアバージョンは、リファレンス サポート パックのバージョンと同じか新しい。
-  メジャー このアップデートには、重大なバグ フィックスが含まれています。できるだけ早くこのアップデートを適用してください。

全体のソフトウェアステータスで、ある項目が現在のものではないと表示される場合は、利用可能なアップデートがあるソフトウェアまたはファームウェアの項目を確認し、項目の説明を読み、サーバ上でその項目をアップデートするのが適切かどうかを判断します。

レポジトリが設定されていて、リファレンス サポート パックが設定されていない場合、ステータスは、インストールされているソフトウェアまたはファームウェアのバージョンと設定されたレポジトリで利用できる最新のコンポーネントとの比較に基づいて表示されます。

レポジトリとリファレンス サポート パックが設定されている場合、ステータスは、インストールされたソフトウェアまたはファームウェアのバージョンとリファレンス サポート パック内のソフトウェアまたはファームウェアのバージョンの比較に基づいて表示されます。

関連トピック

- [ホーム \[23\]](#)
- [ログ \[33\]](#)

インストールされているソフトウェアの表示

[インストール済みソフトウェア] セクションには、ソフトウェアとファームウェアのバージョンが表示されます。




HP バージョン コントロール エージェントのオプションが設定されていない場合は、[インストールされているバージョン] 欄に、現在エージェント システムにインストールされているソフトウェアまたはファームウェアのバージョンが表示されます。

[エージェント設定の変更] リンクを使用して、HP バージョン コントロール レポジトリ マネージャを設定すると、[最新バージョン] 欄が表示されます。[最新バージョン] 欄には、設定されたレポジトリ内で利用可能な最新バージョンのコンポーネントが表示されます。[最新バージョン]

欄のバージョン番号をクリックすると、レポジトリに格納されているバージョンの説明が表示されます。

[サポートパックのバージョン]欄は、[エージェント設定の変更]リンクを使用してリファレンスサポートパックを定義しない場合は、表示されません。[エージェント設定の変更]リンクを使用してバージョンコントロールレポジトリマネージャとリファレンスサポートパックを設定した後、[サポートパックのバージョン]欄と[最新バージョン]欄が表示されます。[サポートパックのバージョン]欄は、設定されたリファレンスサポートパックの一部であるソフトウェアまたはファームウェアコンポーネントのバージョンを表示します。[Support Packバージョン]欄のバージョン番号をクリックすると、レポジトリに格納されているバージョンの説明が表示されます。

インストールされているソフトウェアのステータスアイコンの意味は、以下のとおりです。

-  正常 インストールされたソフトウェアバージョンはこのバージョンと同じか新しい。
-  マイナー このアップデートには、バグフィックスまたは新しいハードウェアサポートが含まれている可能性があります。このバージョンに関する情報を確認し、このアップデートを適切に適用することをおすすめします。
-  メジャー このアップデートには、重大なバグフィックスが含まれています。できるだけ早くこのアップデートを適用してください。

注



バージョンコントロールエージェントは、HP Insightマネジメントエージェントの[インストール済みソフトウェア]セクションで収集されたデータを使用します。最も信頼できるデータを表示するには、常に最新バージョンのHP Insightマネジメントエージェントをインストールしておいてください。HP Insightマネジメントエージェントがインストールされていない場合、バージョンコントロールエージェントでローカルインベントリデータを提供できません。バージョンコントロールレポジトリマネージャが設定されている場合、レポジトリからソフトウェアをインストールできます。

注



[エージェント設定の変更]機能で割り当てられた構成に応じて、[全体のソフトウェアステータス]が表示されます。

注



システムマネジメントホームページの[オペレータ]または[管理者]の権限でログインしていない場合、[インストール]アイコンは無効のままです。

注



インストールされたソフトウェアおよびファームウェア項目に対して、設定されたレポジトリに利用可能なバージョンがない場合、[Support Pack]および[最新バージョン]欄には何も表示されません。このような項目には、ステータスアイコンが表示されませんが、全体のソフトウェアステータスから判断すれば、最新バージョンと考えられます。

関連トピック

- 全体のソフトウェア ステータス アイコン [25]
- ソフトウェアの更新 [31]

ProLiant Support Packの詳細

HPバージョン コントロール エージェントでは、ProLiant Support Packやコンポーネントの詳細を表示することができます。この詳細情報は、ProLiant Support Packやコンポーネントに関する[ファイル]、[名前]、[バージョン]、[言語]、[リリース日]、[説明]、[インストール時の注意事項]、[前提条件]、および[リビジョン履歴]などの情報を提供します。

指定したProLiant Support Packまたはコンポーネントの詳細を表示するには、以下の手順に従ってください。

1. [ホーム]タブを選択します。[ホーム] ページが表示されます。
2. 詳細情報を表示したい項目の[詳細情報]リンクをクリックします。HPバージョン コントロール レポジトリ マネージャのページにリンクする[詳細情報]ページが表示されます。

関連トピック

- ホーム [23]
- 全体のソフトウェア ステータス アイコン [25]
- インストールされているソフトウェアの表示 [26]

リファレンス サポート パック

リファレンスサポートパックは、「エージェント設定の変更」の項[29]リンクを使用して設定されます。

リファレンス サポート パックを選択して、システムの全体のソフトウェア ステータスの判別に使うことができます。この設定により、インストールしたソフトウェアのバージョンを既知の最新バージョンと比較して監視できます。ProLiant Support Packまたはユーザ定義ソフトウェア ベースラインをリファレンス サポート パックとして使用できます。ユーザ定義ソフトウェア ベースラインは、HPバージョン コントロール レポジトリ マネージャを使用して生成することができます。

関連手順

- エージェント設定の変更 [29]
- 全体のソフトウェア ステータス アイコン [25]

関連トピック

- ホーム [23]
- 全体のソフトウェア ステータス アイコン [25]

ソフトウェアの表示/非表示

[レポジトリ内のすべての利用可能なソフトウェアを表示]リンクは、インストールできるProLiant Support Packとコンポーネントの利用可能なソフトウェアの一覧を提供します。利用可能なProLiant Support Packとコンポーネントは、システムにインストールされたオペレーティングシステムのバージョンに対応したものです。サーバーのハードウェアによっては、必ずしも適用する必要がない場合もあります。設定されたレポジトリで利用可能なProLiant Support Packとコンポーネントだけが表示されます。

レポジトリで利用可能な追加のアイテムを表示するには、以下の手順に従ってください。

1. [ホーム]タブを選択します。[ホーム] ページが表示されます。
2. [レポジトリ内のすべての利用可能なソフトウェアを表示]をクリックします。利用可能なソフトウェアが[ホーム] ページに表示されます。

レポジトリで追加のアイテムを隠すには、以下の手順に従ってください。

1. [ホーム]タブを選択します。[ホーム] ページが表示されます。
2. [レポジトリ内のすべての利用可能なソフトウェアを隠す]リンクをクリックします。インストールされているソフトウェアが[ホーム] ページに表示されます。

関連トピック

- ホーム [23]
- 全体のソフトウェア ステータス アイコン [25]
- エージェント設定の変更 [29]

エージェント設定の変更

HPバージョン コントロール レポジトリ マネージャは、インストールに利用できるソフトウェアのディレクトリです。バージョン コントロール レポジトリ マネージャを設定することにより、HPバージョン コントロール エージェントがレポジトリに含まれるソフトウェアを監視できるようになります。

エージェントの設定を変更するには、以下の手順に従ってください。

1. [ホーム]タブを選択します。[ホーム] ページが表示されます。
2. [エージェント設定の変更]をクリックします。[バージョンコントロールレポジトリ マネージャの選択]ページが表示されます。
 - a. [コンピュータ名]フィールドにバージョンコントロールレポジトリ マネージャをインストールしたコンピュータ名を入力します。バージョン コントロール レポジトリ マネージャをインストールしたコンピュータ名を指定すると、より詳しいソフトウェア インベントリの生成が可能になり、システム上のHPのソフトウェアをアップデートする方法が提供されます。

- b. [ログインアカウント]フィールドで、指定したシステムでシステムマネジメントホームページの適切なセキュリティレベルを持つログイン名を入力します。アカウント、アカウント名、およびパスワードは、前の手順で指定したシステムにシステムマネジメントホームページまたはマネジメントHTTPサーバのどちらがインストールされているかによって異なります。このアカウントはバージョンコントロールレポジトリマネージャシステムで[オペレータ]または[管理者]レベルの権限を持つ必要があるため、これらの情報を入力する前に、ブラウザを使用してログインアカウントおよびパスワードを確認することをおすすめします。

注：バージョンコントロールエージェントでバージョンコントロールレポジトリマネージャからソフトウェアをダウンロードするには、システムマネジメントホームページで定義されている[管理者]または[オペレータ]のアカウントを入力して、該当するパスワードを入力する必要があります。バージョンコントロールレポジトリマネージャで匿名アクセスが無効になっている場合、バージョンコントロールエージェントでインベントリをバージョンコントロールレポジトリマネージャで利用できるインベントリと比較してソフトウェアのステータスを表示するには、少なくともユーザ権限のアカウントを入力して、該当するパスワードを入力しなければなりません。

注：システムマネジメントホームページから管理者がロックアウトされることを防ぐために、[Administrator]という名前のアカウントは、バージョンコントロールエージェントからバージョンコントロールレポジトリマネージャへの接続には使用できません。

- c. [パスワード]フィールドに、[ログインアカウント]フィールドで選択したログインアカウント用のパスワードを入力します。

3. [次へ]をクリックして先に進みます。[リファレンス サポート パックの選択]ページが表示されます。この手順で指定した設定を消去するには[リセット]をクリックし、変更作業を中断するには[キャンセル]をクリックします。

注：バージョンコントロールレポジトリマネージャにアクセスできない場合は、エラーメッセージが表示され、[HPバージョンコントロールエージェント]ページに戻るので、設定を入力しなおしてください。

- [リファレンス サポート パックの選択]フィールドでは、ホームページの[Support Pack のバージョン]欄でデフォルトのリファレンスとして表示するProLiant Support Pack名をドロップダウンリストから選択してください。バージョンコントロールレポジトリマネージャの設定は変更するが、新しいリファレンス サポート パックを指定しない場合は、新しいリファレンス サポート パックを指定せずに[完了]をクリックします。
- ソフトウェアのバージョンが適合しないときに警告を表示する場合は、[このチェックボックスをオンにすると、ソフトウェアステータスはインストールされたソフトウェアのバージョン情報と、リファレンス サポート パックのソフトウェア バージョン情報を元に表示されます。]を選択します。

注：以前にリファレンス サポート パックが設定されていないか、設定されたProLiant Support Packが存在しない場合は、[リファレンス サポート パック]フィールドに["(選択なし)"]と表示されます。

4. 変更内容を消去して前の設定に戻るには[リセット]をクリックし、変更作業を中断して設定を元に戻すには[キャンセル]をクリックし、変更を保存するには[完了]をクリックします。アップデートされた設定は、[現在の設定]ページに表示されます。
5. [閉じる]をクリックして、[ホーム]ページに戻ります。

注：[キャンセル]をクリックすると、[キャンセルの確認]ダイアログボックスが表示されて、変更作業を中断して元の設定を維持することの確認を求められます。[いいえ]をクリックすると[現在の設定]ページに戻り、[はい]をクリックすると、変更作業を中断し、元の設定を維持して、[ホーム]ページに戻ります。

関連トピック

- リファレンス サポート パック [28]

ソフトウェアの更新

[ホーム] ページでは、ProLiant Support Packとコンポーネントをインストールできます。ソフトウェアまたはファームウェアの名前をクリックすると、レポジトリのその項目の説明にリンクします。

コンポーネントまたはProLiant Support Packをインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. [ホーム]タブを選択します。[ホーム] ページが表示されます。
2. インストールしたい項目の横の[インストール]アイコンをクリックします。選択したインストール オプションで、コンポーネント/Support Packのインストール ページが表示されます。

- a. 強制インストール 既存のソフトウェアまたはより新しいバージョンのソフトウェアに上書きする形で、ソフトウェアを再インストールできます。

注：このチェックボックスを選択しても、古いバージョンへのダウングレードがうまくいかない場合があります。ほとんどのコンポーネントの通常プロセスでは、より新しいバージョンがすでにインストールされている場合は古いバージョンをインストールしようとはしないため、このチェックボックスは単にインストールを実行しようと試みることができるだけです。

- b. 自動リブート このオプションを選択すると、HPバージョン コントロール エージェントは、インストール終了時に再起動が必要な場合、自動的にシステムを再起動します。Support Packのインストールの場合、すべてのコンポーネントがエラーなくインストールされた後で、イベントが発生します。コンポーネントのインストールでエラーが起きると、再起動はされません。インストール エラーが起きた後で、バージョン コントロール エージェント ログを調べて、システムの再起動が必要かどうかを判断してください。自動リブートを選択しない場合、ログを見て再起動が必要かどうかを判断する必要があります。ログを見て再起動が必要な場合、マニュアル操作でサーバを再起動して、インストールを完了する必要があります。

重要：タスクが終了したら、必ずログの詳細を読んで、再起動が必要かを判断してください。

3. [インストール]ボタンをクリックして、インストールを開始するか、[キャンセル]ボタンをクリックして、インストールを中断し、[ホーム]ページに戻ります。

注：インストールの前にすべてのコンポーネントがダウンロードされます。ダウンロード中にエラーが起きるとインストールの失敗の原因となり、コンポーネントのインストール エラーが発生します。1つのコンポーネントのインストールでエラーが起きても、ProLiant Support Packの残りのコンポーネントのインストールは停止されませんが、自動リブートは

行われません。Windowsでは、1つのコンポーネントのインストールが15分以内に終わらない場合、タイムアウトが発生して、コンポーネントのインストールは終了します。

注：1度に1つのインストール タスクしか実行できません。別のインストール タスクの進行中に[インストール] アイコンをクリックすると、現在のインストールの進行ステータスを表示する[ログ]ページが表示されます。

関連トピック

- インストールされているソフトウェアの表示 [26]
- 全体のソフトウェア ステータス アイコン [25]

インベントリ データのリフレッシュ

HPバージョン コントロール エージェントは、インベントリ データを手動で更新することができます。

インベントリ データを更新するには、以下の手順に従ってください。

1. [ホーム]タブを選択します。[ホーム] ページが表示されます。
2. [インベントリ データのリフレッシュ]をクリックします。[ホーム]ページが更新されます。

関連トピック

- ホーム [23]
- 全体のソフトウェア ステータス アイコン [25]

ソフトウェア ステータスの印刷

ソフトウェア ステータスの印刷

[ソフトウェア ステータスおよびインストール済みソフトウェアの印刷]は、以下の内容を印刷する機能です。

- 全体のソフトウェア ステータス
- リファレンス サポート パック
- インストール済みのソフトウェア名
- インストールされたバージョン
- 最新バージョン

ソフトウェア ステータスの印刷

ソフトウェア ステータスおよびインストール済みソフトウェアを印刷するには、以下の手順に従ってください。

1. [HPバージョンコントロールエージェント ホーム]ページの右上隅にある[印刷]アイコンをクリックします。[ソフトウェア ステータスおよびインストール済みソフトウェア]レポートが表示されます。デフォルトでは、[印刷]ダイアログ ボックスが表示されます。

2. [印刷]をクリックします。レポートが印刷されます。

関連トピック

- ホーム [23]

ログ

[ログ]ページには、その動作中、HPバージョンコントロールエージェントによってログに記録された情報が表示されます。このログは、特定のタスクが失敗した原因などの問題を解決しようとするときに役に立ちます。このログは、[ログの消去]リンクで削除できます。

[ログ]ページでは、以下の機能を実行できます。

- 「ログの表示」の項 [33]
- 「単一のログ エントリの詳細表示」の項 [34]
- 「ログの消去」の項 [35]
- 「ログの設定の変更」の項 [36]

手順

- ログの表示 [33]
- 単一のログ エントリの詳細表示 [34]
- ログの消去 [35]
- ログの設定の変更 [36]

関連トピック

- ホーム [23]
- ソフトウェアのナビゲート [23]
- 全体のソフトウェア ステータス アイコン [25]
- Windows 2000/NT イベント [48]

ログの表示

[ログ]ページは、実行された特定のタスクに関する情報を表示します。

バージョン コントロール エージェント ログを表示するには、[ログ]タブを選択します。[ログ]ページが表示されます。

注



ログが複数のページにわたる場合は、[ログ]ページの下部にある番号または矢印をクリックすることで、[ログ]ページをナビゲートすることができます。

[タスクID]の詳細情報リンクをクリックすることで、特定のタスクの詳細情報を表示できます。
[ステータスアイコン]の欄に各タスクの深刻度を示すアイコンが表示されます。ステータスアイコンの定義は以下のとおりです。



情報



正常



警告



メジャー

- 深刻度 上に示した深刻度アイコンが、イベントの深刻度を示します。
 - 情報および正常イベントは、起動などの内部イベント、コンポーネントのインストールなど、タスクの正常な完了を確認するために記録されます。
 - 警告イベントは、設定の誤りなどバージョンコントロールエージェントの機能が完全ではないことを示す場合があります。
 - メジャー イベントは、タスクやプロセスが失敗したときに記録されます。この深刻度は、バージョンコントロールエージェントの問題を示す場合もありますが、タスクでの不正な入力や外部状況（ネットワークの問題など）によって発生することもあります。これらが原因で、タスクが完了できなくなる可能性もあります。
- タスクID [タスクID]欄のリンクをクリックすると、フィルタされたタスクのログが表示されます。[ログ]タブを再度選択するか、ブラウザの[戻る]をクリックすると、フィルタする前のログに戻ります。対話型のユーザのために実行されたタスクには、バージョンコントロールエージェントによってIDが生成されます。HP Systems Insight Managerコマンドは、[エージェント設定のレプリケート]から実行されたタスクのためのIDを提供します。
- 日付/時刻 イベントが発生すると、日付と時刻がログに記録されます。時刻は、ブラウザの現地時間に変換され、サーバが異なる時間帯の地域に配置されている場合でも、イベントが発生した実際の時刻が示されます。
- メッセージ 追加情報を利用できる場合は、[詳細情報]リンクが表示されます。[詳細情報]リンクをクリックして、詳細情報を表示します。特定のイベントの詳細情報を表示するには、表示するメッセージに関連付けられた[詳細情報]リンクをクリックします。

関連トピック

- 全体のソフトウェア ステータス アイコン [25]
- ログの消去 [35]

単一のログ エントリの詳細表示

バージョンコントロールエージェントログ ページでは、ログ エントリの詳細情報を利用可能な場合に、その情報を表示することができます。ログ エントリの詳細情報が利用可能な場合、詳細情報リンクは、該当するログ エントリの最後に表示されます。

注



[深刻度]、[タスクID]、[日付/時刻]、および[メッセージ] フィールドについて詳しくは、「ログの表示」の項 [33]を参照してください。

ログ エントリの詳細情報にアクセスするには、以下の手順に従ってください。

1. [ログ]タブを選択します。[ログ]ページが表示されます。
2. 詳細情報を表示するログエントリの詳細情報リンクをクリックします。[エントリ詳細]ページが表示されます。

関連トピック

- ログの表示 [33]
- ProLiant Support Packの詳細 [28]

ログの消去

ログが大きくなりすぎると、必要な情報を探すのが難しくなります。[ログの消去]リンクを使うと、バージョン コントロール エージェント ログを消去できます。

注意



HPバージョンコントロールエージェントログファイルを消去すると元に戻すことはできません。この機能は慎重に使用してください。

注



ログを消去するには、[オペレータ]または[管理者]の権限でシステムにログインしていなければなりません。

注



インストール実行中は、コンポーネントのセットアッププログラムでファイルを使用しているため、ログの消去を行わないでください。ログを消去すると、インストールの結果としての全体のソフトウェア ステータスがHP Systems Insight Managerに返されない場合があります。

バージョン コントロール エージェント ログを消去するには、以下の手順に従ってください。

1. [ログ]タブを選択します。[ログ]ページが表示されます。
2. [ログの消去]をクリックします。[HPバージョン コントロール エージェントログの消去]ページが表示されます。
3. 将来参照するために、既存のログ エントリをテキスト ファイルに保存する場合は、[テキスト保存オプション]セクションで、[ログ テキストの保存]を選択します。
4. [バージョンコントロールエージェントログの消去]ページに戻ってデフォルト設定を使用するには[リセット]をクリックし、消去作業を中断するには[キャンセル]をクリックします。[消去]セクションで、[完了]をクリックしてログを消去します。
 - a. [ログテキストの保存]を選択している場合は、[ファイルのダウンロード]ダイアログボックスが表示されます。
 - b. [保存]ボタンをクリックします。[名前を付けて保存]ダイアログ ボックスが表示されます。テキスト ファイルを保存する場所を指定して、[保存]をクリックします。[HPバージョン コントロール エージェントログの消去]ページが再度表示されて、[バージョン コントロール エージェントログ]が無事に消去されたかを示します。
5. [閉じる]をクリックします。[ログ] ページが更新されます。

関連トピック

- ログの表示 [33]
- インストールされているソフトウェアの表示 [26]

ログの設定の変更

[ログ設定の変更]リンクを使うと、ログを設定できます。ログ エントリを自動削除するか、エントリを削除するまでの日数、および1ページに表示するログ エントリ数を指定できます。

注



設定を変更したり、[ログの管理]機能を有効にしたりするには、[オペレータ]または[管理者]として、システムにログインする必要があります。

ログの設定を変更するには、以下の手順に従ってください。

1. [ログ]タブを選択します。[ログ]ページが表示されます。
2. [ログ設定の変更]をクリックします。[ログ設定の変更]ページが表示されます。
3. ログエントリを自動削除するまでの日数を指定するために、[ログ年齢]セクションで、[ログ年齢を有効]を選択します。ログを自動削除しない場合は、[ログ年齢を有効]の選択を解除してください。
4. [エントリを保持する日数]フィールドに、ログ エントリを削除するまでの日数を入力します。

5. [ページ毎のログ エントリ表示数]セクションで、各[ログ]ページに表示するエントリ数をドロップダウン メニューから選択します。
6. [ログ設定]ページに戻ってデフォルト設定を使用するには[リセット]をクリックし、変更作業を中断するには[キャンセル]をクリックします。
7. [完了]をクリックして、新しい設定を保存します。ログ設定が無事に保存されたかを示す[ログ設定]ページが表示されます。
8. [閉じる]をクリックします。[ログ] ページが更新されます。

関連トピック

- ログの消去 [35]
- ログの表示 [33]

トラブルシューティング

HPバージョンコントロール エージェント

HP Systems Insight Managerの問題

HP Systems Insight Managerでアップデートを実行中に、ソフトウェア レポジトリが利用できなくなった場合には、どのようにして復旧すればいいのでしょうか？

解決策： アップデート タスクは、ソフトウェア バージョンの基準を使用して、タスクを再度実行します。アップデートは開始されますが、レポジトリに置かれたSmartコンポーネントは、対象となるサーバでサポートされている場合にだけインストールされます。

タスク ログを使って、対象となるシステムを調べて、アップデートがどこで失敗したかを調べます。

HP Systems Insight Managerのソフトウェア アップデート機能がレポジトリにありません。これはどのように修正すればいいのでしょうか？

解決策： 検出の設定を調べて、指定されたIPアドレスの範囲から、利用可能なレポジトリの選択が除外されていないことを確認してください。また、レポジトリはHP Systems Insight Managerに対して、自身をレポジトリとして通知するため、すべてHPバージョン コントロール レポジトリ マネージャによって管理されていることを確認してください。必須ではありませんが、HP Systems Insight Managerの検出を初めて実行する前に、バージョン コントロール レポジトリ マネージャをセットアップしておくとう便利です。バージョンコントロールレポジトリ マネージャとHP Systems Insight Managerの間に信頼関係が設定されていることを確認してください。

HP Systems Insight Managerからインストールしようとしていた3つの項目のうちの1つがレポジトリからのダウンロードに失敗した場合、正しくダウンロードできた他の2つの項目もインストールできませんでした。

解決策： 項目の1つでもレポジトリからのダウンロードに失敗すると、バージョン コントロール エージェントはそれらの項目をインストールしません。

HP Systems Insight Managerでソフトウェアのアップデート タスクが完了したときに、自分にE-mail通知を出すタスクを設定しましたが、イベントが通知されたときにソフトウェアのインストールは完了していませんでした。

解決策： ソフトウェア アップデート タスクは、対象となるそれぞれのシステム上のバージョン コントロール エージェントに、指定したコンポーネントをインストールするコマンドを発行します。最後のシステムにインストール コマンドを送信し終わると、ソフトウェア アップデートタスクは終了し、終了イベントが送信されます。ただし、この時に、一部のシステムではコンポーネントのダウンロードとインストールが行われている場合があります。

バージョン コントロール エージェントを使ってバージョン コントロール レポジトリ マネージャをインストールまたはアップデートできないのはなぜですか？"Unable to install the Microsoft XML Parser 3.0 (1603)"エラーが表示されます。

解決策： サービスが管理者権限を持たないバージョン コントロール エージェントでバージョン コントロール レポジトリ マネージャをインストールしようとしています。

バージョン コントロール エージェントとバージョン コントロール レポジトリ マネージャの両方が動作するサーバで、推奨する変更を実行してください。

1. [サービス] プログラムを起動します。
2. [HP Version Control Agent]サービスを右クリックします。
3. [プロパティ]を選択します。
4. [ログオン]タブを選択します。
5. [このアカウント]をクリックします。
6. 管理者アカウントを持つユーザ名を入力するか、[参照]を使ってブラウズします。
7. [OK]をクリックして、変更を保存します。

これで、バージョン コントロール エージェントを使って、バージョン コントロール レポジトリ マネージャをインストールおよびアップグレードできるようになりました。

ログの問題

インストール ログではなく、[バージョン コントロール エージェントログ]に再起動要求（ステータス2）があるのはなぜですか？

解決策：[バージョン コントロール エージェント ログ]ページには、その動作中、バージョン コントロール エージェントによってログに記録された情報が表示されます。[バージョン コントロール エージェント ログ]は、特定のタスクが失敗した原因などのトラブルシューティングをしようとするときに、情報を提供します。この特別なケースでは、コンポーネント セットアッププログラムがインストールの成功を検出していますが、インストールはシステムが再起動するまで完了しません。バージョン コントロール エージェントは、不要な再起動を防止するために、各コンポーネントのインストール後にシステムを再起動するようなことは避け、すべてのインストールが終わった段階で再起動します。[自動リブート]オプションを選択せずに、インストールタスクを開始した場合、サーバを手動で再起動して、すべてのソフトウェアを正しくインストールする必要があります。

[ログ]ページには、コンポーネントのセットアッププログラムによってログに記録された情報が表示されます。

使用しているサーバにハードウェアが存在し、アップデートが必要なのに、一部のコンポーネントがインストールされず、ログに失敗と記録されるのはなぜですか？

解決策：HPの一部のコンポーネントは、NICドライバなどのようにユーザが操作しないとインストールできないサイレント インストールをサポートしていません。バージョン コントロール エージェントは、サイレント インストールが可能なコンポーネントだけをインストールできます。現在、以下のコンポーネントは、サイレントインストールをサポートしていません。

- NetFlex/Netelligentアダプタ ドライバfor Windows NT 4.0
- Ethernet/Fast EthernetまたはGigabit NIC ドライバfor Windows NT 4.0
- Array Redundancy Software for Windows 2000

サイレント インストールがサポートされていない場合、以下の手順に従ってください。

1. バージョン コントロール エージェントログを表示して、インストールされなかったコンポーネントを確認します。

2. アップデートできなかったシステムにアクセスして、そのシステムからバージョンコントロール レポジトリ マネージャのレポジトリをブラウズします。
3. [カタログ]をブラウズして、コンポーネントを特定します。
4. 特定したコンポーネントをクリックします。[コンポーネントの詳細]ページが表示されます。
5. インストールできなかったコンポーネントをダウンロードするには、[コンポーネントの詳細]ページの上にあるコンポーネントのリンクをクリックします。
6. コンポーネントをシステムに保存します。
7. コンポーネントを手動でインストールします。

Authenticodeテクノロジーによって署名されていないためや、Microsoft Windowsロゴテストに合格していないためにコンポーネントをインストールできない場合は、対象となっているシステムのメッセージを確認してください。

このコンポーネントがユーザの操作なしでインストールされない場合、バージョンコントロール エージェントは、なぜ"インストール失敗"と表示されるのですか？

解決策：バージョン コントロール エージェントは現在、サイレント コンポーネントとサイレントでないコンポーネントを区別しません。

ファイルにログ エントリを保存できません。また、"Internet Explorer cannot download clrlogwiz&logsave=true from the local host"というMicrosoft Internet Explorerのメッセージが表示されます。何が原因ですか？

解決策：ブラウザの設定が原因で、ログ ファイルに書き込みができません。

以下の手順を実行することをおすすめします。

1. Microsoft Internet Explorerで、[ツール]->[インターネット オプション]->[詳細設定]の順にクリックします。
2. [セキュリティ]セクションで、[暗号化されたページをディスクに保存しない]の選択を解除します。
3. [OK]をクリックします。設定が保存されます。

エージェント設定のレプリケートの問題

HP Systems Insight Managerのエージェント設定のレプリケート機能は、セキュリティ上の理由からソース システムへのアクセスを拒絶します。これはどのようにして修正できますか？

解決策：HP Systems Insight Managerは、認証されたユーザだけが管理情報にアクセスできるように、セキュリティ機能を実装しています。このセキュリティ機能は、HP Systems Insight Managerと管理対象システムとの間のセキュリティ設定に基づいています。HP Systems Insight Managerとソース システムのシステム マネジメント ホームページ間の信頼関係が正しく設定されていないと、HP Systems Insight Managerはアクセスを拒絶します。この問題を修正するには、次の手順を実行することをおすすめします。

1. **https://ホスト名:2381**にナビゲートします。

2. システム マネジメント ホームページで、[Settings]->[Security]->[Trust Mode]の順にクリックします。
3. 設定を修正します。

注：信頼関係について詳しくは、『HP Systems Insight Managerインストール/ユーザガイド』の『信頼関係の設定』を参照してください。

管理システム（バージョン コントロール レポジトリ マネージャインストール済み）および管理対象システム（システムマネジメントホームページ）によって実装されているセキュリティ機能について詳しくは、『Security』 White Paperを参照してください。『Security』 White Paperをダウンロードするには、HPのWebサイト<http://www.hp.com/jp/servers/manage/>にアクセスしてください。

レポジトリの問題

HP Systems Insight Managerの[ソフトウェアのバージョン ステータス ポーリング] タスクのジョブは、システムにインストールされたソフトウェアとファームウェアのリストをシステムから取得し、システム上のHPバージョン コントロール エージェントからソフトウェアのステータスを取得します。このタスクの設定時に、レポジトリを指定しなければならないのはなぜですか?どのレポジトリを選択するかは、問題になりますか?

解決策： HP Systems Insight Managerは、選択したバージョン コントロール レポジトリ マネージャに、ソート順に並べられたすべてのソフトウェアバージョンのリストを送ります。このプロセスは、HP Systems Insight Managerがソフトウェア バージョン比較を含む検索を正しく処理するために必要です。バージョンコントロールレポジトリマネージャは、ソートしたコンポーネントのバージョンのリストを、そのコンポーネントがレポジトリにない場合でも返すことができます。ただし、通常は、最も完全なソフトウェアのセットを含むレポジトリを選択するのが最善です。

[管理者]の資格情報を使用してバージョンコントロールレポジトリマネージャにアクセスするようにバージョンコントロールエージェントを設定したいのですが、できないようです。このようなことがなぜ起きるのでしょうか?

解決策：システムマネジメントホームページがインストールされている場合、[管理者]の資格情報を使用してバージョンコントロールレポジトリマネージャ2.1以降にアクセスするようにバージョンコントロールエージェントを設定することはできません。バージョンコントロールエージェントがバージョンコントロールレポジトリマネージャに何度かログイン試行することによって、バージョンコントロールレポジトリマネージャの[管理者]パスワードがロックアウトされないように、バージョンコントロールエージェントの機能が[管理者]の資格情報を使用できないようにしています。

管理者の権限のある、バージョン コントロール エージェント専用のアカウントを作成することをおすすめします。たとえば、vcadminというアカウントを作成します。

ソフトウェア インベントリの問題

物理的に自分のサーバに存在しないコンポーネントが、ハードウェアのインベントリに表示されるのはなぜですか?

解決策： この問題は、SmartStartとバージョン コントロール エージェントとの競合が原因で起きるもので、最新バージョン欄と[Support Pack]欄には、黄色のステータスアイコンが表示される場合があります。

SmartStartは、ハードウェアの物理的な場所に関わらず、下の例のようなハードウェアのためにすべてのコンポーネント、特にストレージ コンポーネントをサーバにインストールします。

- 32-bit SCSIコントローラ ドライバ for Windows NT 4.0
- ドライブ アレイ ドライバ for Windows NT 4.0
- Smart Array-2コントローラ ドライバ for Windows NT 4.0
- 64-bit/66MHzデュアル チャネルWide Ultra3 SCSIコントローラ ドライバ for Windows NT 4.0
- Smartアレイ 5xコントローラ ドライバ for Windows NT 4.0

バージョン コントロール エージェントで設定されたバージョン コントロール レポジトリ マネージャにこれらのコンポーネントの新しいバージョンのカタログがあり、アップグレードが必要で利用可能な場合、これらのコンポーネントのインベントリが黄色のステータスアイコンで表示されます。

たとえば、ご使用のサーバがSmartStart CD 5.2のコンポーネントで設定されていて、バージョン コントロール レポジトリ マネージャの[カタログ]には、新しいSmartStart CD 5.3のコンポーネントが含まれている場合、バージョン コントロール エージェントのインベントリでは、これらのコンポーネントを黄色のステータスアイコンで表示します。システムにはハードウェアが物理的に存在せず、したがって、ステータスアイコンをコンポーネントが最新であることを示す緑色の表示にすることができないため、これらのコンポーネントをアップグレードすることはできません。バージョン コントロール エージェントがコンポーネントのアップグレードが必要なことをレポートしているため、[全体のステータス]は相変わらず、黄色のままです。

ユーザ定義ソフトウェアベースラインを作ることによって、問題となるコンポーネントを除外して、バージョンコントロールエージェントがユーザ定義ソフトウェアベースラインをリファレンス サポート パックとして使用するよう設定できます。このオプションは、Support Packのバージョン欄でも、問題のコンポーネントをバージョンの比較中に除外することができます。この結果、[全体のステータス]をインベントリが最新であることを示す[緑色]のアイコン表示に変更できます。ただし、[最新バージョン]の欄は、依然としてこれらのコンポーネントに[黄色]のアイコンを表示します。

この解決策は、ストレージハードウェアが物理的にインストールされていないシステムにだけ適用してください。

この問題は、バージョンコントロールエージェントの将来のリリースで修正される予定です。

システムにインストールされたソフトウェアの一部が、バージョン コントロール エージェントのソフトウェア インベントリに表示されないのはなぜですか？

解決策： HP Insightマネジメント エージェントの5.20以前をシステムにインストールしている場合、以下のコンポーネントは表示されません。

- Drive Array Notification for Windows 2000
- PCI Hot Plug Controller Driver for Windows 2000
- Integrated Management Log Display Utility for Windows 2000
- Integrated Management Log Viewer for Windows 2000
- Power Supply Viewer for Windows 2000
- Power Down Manager for Windows 2000

- Enhanced Integrated Management Display Service for Windows 2000
- ATI RAGE IIC Video Controller Driver for Windows 2000
- Array Redundancy Software for Windows 2000
- Integrated ATA RAID Management Utility
- Network Teaming and Configuration for Windows 2000
- Remote Insight Board Wide Area Network Driver for Windows NT 4.0
- Integrated Management Log Display Utility for Windows NT 4.0
- Integrated Management Log Viewer for Windows NT 4.0
- Power Supply Viewer for Windows NT 4.0
- PCI Hot Plug Utility for Windows NT 4.0
- Array Redundancy Software for Windows NT 4.0
- Power Down Manager for Windows NT 4.0
- Enhanced Integrated Management Display Service for Windows NT 4.0
- ATI RAGE IIC Video Controller Driver for Windows NT 4.0
- ATI RAGE XL Video Controller Driver for Windows NT 4.0
- Integrated ATA RAID Management Utility

HP Insightマネジメントエージェント5.30以降をインストールした場合、これらのコンポーネントはバージョンコントロールエージェントの[ソフトウェアインベントリ]に表示されます。

HPバージョンコントロールレポジトリ マネージャ アクセスの問題

Service Pack 2を使用してWindows XPシステムをアップデートした後、HPバージョンコントロールレポジトリ マネージャにアクセスできなくなります。原因は何ですか？

解決策：Windows XP Service Pack 2は、ソフトウェア ファイアウォールを実装しており、このため、ブラウザや他のクライアントがバージョンコントロールレポジトリ マネージャにアクセスするために必要なポートにアクセスできません。この問題を解決するには、[例外]を使用してファイアウォールを設定し、HP Systems Insight Manager、バージョンコントロールエージェント、および他のバージョンコントロールレポジトリ マネージャが使用するポート経由でアクセスできるようにする必要があります。

以下の手順を実行することをおすすめします。

1. [スタート]>[設定]、[コントロール パネル]の順に選択します。
2. [Windows ファイアウォール]をダブルクリックして、ファイアウォールの設定を変更します。

3. [例外]を選択します。
4. [ポートの追加]をクリックします。

製品名およびポート番号をそれぞれ入力する必要があります。

ファイアウォール保護に、次の例外を追加します。

製品	ポート番号
HP SMH非セキュア ポート :	2301
HP SMHセキュア ポート :	2381

注：HP Systems Insight Managerのセキュア ポートおよび非セキュア ポートについて詳しくは、『HP Systems Insight Managerインストール/ユーザ ガイド』のトラブルシューティング、ログインの問題の項を参照してください。

5. [OK]をクリックして設定を保存し、[ポートの追加]ダイアログ ボックスを閉じます。
6. [OK]をクリックして設定を保存し、[Windows ファイアウォール]ダイアログ ボックスを閉じます。

この設定により、Windows XP Service Pack 2のデフォルト セキュリティ強化を変更することなく、上記のポート経由でのトラフィックを許可できます。バージョン コントロール レポジトリマネージャにアクセスするブラウザやほかのクライアントから正しく通信するには、セキュア ポートと非セキュア ポートの両方を追加する必要があります。

ブラウザの問題

最新のProLiant Support Packを使用してコンポーネントを設定しようとする、Mozillaブラウザにコンポーネントの設定ウィザードが表示されますが、そこでは、1つの画面にすべての設定画面が含まれています。どの設定を保存することもできず、[Save]をクリックしてもウィザードに空白の画面が表示されます。このようなことがなぜ起きるのでしょうか？

解決策：バージョン7.10以前のProLiant Support Packに含まれるコンポーネント設定は、Mozillaブラウザを使用する場合、成功しないことがあります。これは、コンポーネントの設定HTMLに依存関係が含まれるためです。

この問題を解決するには、Internet Explorer 6.0 SP1以降またはHPリモート デプロイメント ユーティリティを使用して、コンポーネントを設定してください。

サポート パックのアップロード タスクが機能しません。原因は何ですか？

解決策：[ProLiant Support Packのアップロード]タスクを機能させるには、ブラウザのActiveXコントロールのダウンロード設定と実行設定を有効にする必要があります。

Microsoft Internet Explorerのセキュリティ設定を行うには、以下の手順に従ってください。

1. [Microsoft Internet Explorer]のツールバーで、[ツール]をクリックして、[インターネット オプション]を選択します。[インターネット オプション]ダイアログ ボックスが表示されます。
2. [レベルのカスタマイズ]をクリックします。[セキュリティの設定]ダイアログ ボックスが表示されます。

3. [ActiveX コントロールとプラグイン]の下方向にある[署名済み ActiveX コントロールのダウンロード]で、[有効にする]を選択します。
4. [ActiveX コントロールとプラグインの実行]で、[有効にする]を選択します。
5. [スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行]で、[有効にする]を選択します。
6. [OK]をクリックして、設定を保存します。ブラウザの画面に戻ります。

カタログの問題

Support Packからレポジトリに手動でファイルをコピーすると、どの新しいコンポーネントも[カタログ]ページに表示されません。どのようにすれば、このファイルを表示させることができますか?

解決策：バージョン コントロール レポジトリ マネージャを使用せずに、手動でファイルをレポジトリにコピーする場合は、レポジトリを再スキャンしてカタログを再構築しなければならないことがあります。レポジトリにファイルを手動でコピーする方法については、バージョン コントロール レポジトリ マネージャのヘルプ ファイルの『SmartStart CDから手動でレポジトリを更新する』（ProLiantサーバの場合）またはSmartSetup CD（Integrityサーバの場合）を参照してください。レポジトリの再スキャンについては、バージョン コントロール レポジトリ マネージャのヘルプ ファイルの『レポジトリの再スキャンとカタログの再構築』を参照してください。

バージョン コントロール レポジトリ マネージャで再スキャン機能が機能していないように思われます。何が問題なのでしょうか?

解決策：[自動更新]の進行中は、再スキャン機能は機能しません。[自動更新]が完了したら、レポジトリが、カタログに[自動更新]が表示されていた間にダウンロードされた、すべてのコンポーネントおよびProLiant Support Packの再スキャンを自動的に行います。

自動更新中に、**"The automatic updated failed because an error occurred while retrieving the download site catalog."**というエラー メッセージが表示されました。エラーメッセージは、catalog.xmlファイルのエラーとエラーコード12007、12015などに関するものでした。これは、どのような意味ですか?

解決策：自動更新プロセスの実行中に、バージョンコントロールレポジトリ マネージャがWebサイトに接続できませんでした。

以下の手順を実行することをおすすめします。

- バージョン コントロール レポジトリ マネージャがインストールされているマシンへの、インターネットのハードウェア接続（電話回線やケーブル）が確実に行われていることを確認します。
- DNS（domain name server）設定が正しいことを確認します。
- プロキシおよびユーザ権限の設定を確認します。

ProLiant Support Packの問題

暗号化属性を使用してレポジトリ ディレクトリを設定した後バージョン コントロール レポジトリ マネージャサービスを再起動すると、バージョン コントロール レポジトリ マネージャの[カタログ]ページにどのProLiant Support Packも表示されなくなります。また、[ログ]ページに、

コンポーネントがレポジトリから削除されたことが表示されます。ProLiant Support Packは、なぜ表示されないのですか？

解決策：この問題は、通常、セキュリティ権限の変更またはレポジトリディレクトリの暗号化によるものです。バージョン コントロール レポジトリ マネージャWindowsサービスがレポジトリ ディレクトリにフルアクセスできるように、レポジトリ ディレクトリの権限が設定されているかどうかを必ず確認してください。また、バージョン コントロール レポジトリ マネージャは、暗号化属性をサポートしません。レポジトリ ディレクトリを暗号化すると、ProLiant Support Packがバージョン コントロール レポジトリ マネージャの[カタログ]ページに表示されなくなります。ただし、削除されてはいません。

以下の手順を実行することをおすすめします。

1. バージョン コントロール レポジトリ マネージャサービスを停止します。
2. [マイ コンピュータ]をダブルクリックします。Windowsエクスプローラが表示されます。
3. レポジトリ ディレクトリを右クリックして、[プロパティ]を選択します。
4. [全般]タブを選択します。
5. [詳細設定]をクリックします。
6. [内容を暗号化してデータをセキュリティで保護する]の選択を解除します。
7. [OK]をクリックします。
8. [OK]を再度クリックします。設定が保存されます。
9. バージョンコントロールレポジトリ マネージャサービスを開始します。[カタログ]ページにProLiant Support Packが表示されます。

HP Systems Insight Managerのソフトウェア/ファームウェア基準を使って、インストールされているSupport Packのバージョンを確認することができますか？

解決策：通常、ProLiant Support Packは、ソフトウェアのアップデート検索を作成するときの比較に使うことはできません。ただし、ProLiant Support Packを比較する必要がある場合は、次のガイドラインに従って比較に使用するProLiant Support Packを選択してください。

- ProLiant Support Packで利用できる比較は、[Equal To]だけです。
- HP Systems Insight Managerは、ProLiant Support Packがシステムにインストールされていたかどうかを確認できません。ただし、ProLiant Support Packのすべてのコンポーネントがシステムにインストールされているかだけは確認できます。ProLiant Support Packのすべてのコンポーネントが、対象となるシステムにインストールされている場合にだけ、ProLiant Support Packを比較する検索に対して、対象となるシステムが返されます。

ProLiant Support Packのすべてのコンポーネントが1つのシステムにインストールされることは考えられません。この問題は、Support Packソフトウェアを基準とするほとんどの検索には、システムが返ってこない原因となります。

その他の問題

HP Systems Insight Managerで検出を実行する前に、バージョン コントロール レポジトリ マネージャをインストールする必要がありますか？ また、必要であるとしたらなぜですか？

解決策：必須ではありませんが、検出を実行する前にバージョン コントロール レポジトリ マネージャをインストールするのは賢明です。このレポジトリがHP Systems Insight Managerを信頼していることを確認してください。信頼関係について詳しくは、『HP Systems Insight Manager インストール/ユーザガイド』の信頼関係の設定の項を参照してください。[ソフトウェア バージョンのステータス ポーリング]タスクが、システムから取得したソフトウェアのバージョンを正しくソートできるため、バージョン コントロール レポジトリ マネージャをインストールするのは賢明です。検出を実行する前にレポジトリを設定していない場合は、ソフトウェア基準検索が最初に設定される際にバージョンがソートされます。

バージョン コントロール エージェントでソフトウェアおよびファームウェア インベントリの取得中に、エラーが発生した原因は何ですか？

解決策：バージョン コントロール エージェントでは、Windows 基本エージェント 5.30以降が必要です。必ずSNMPとWindows 基本エージェントをインストールしてください。Linux用のバージョン コントロール エージェントの場合は、HP Server Management Application and Agents (**hpasm RPM 7.00**以降)を必ずインストールしてください。このエージェントをダウンロードするには、HPのWebサイト<http://www.hp.com/jp/servers/manage/>にアクセスしてください。また、必ず、SNMPセキュリティ設定で少なくとも読み込みコミュニティ名を設定してください。

HP Systems Insight Managerで基本エージェントfor Windowsをインストールしたシステムの検索を実行したときに、Windows 2000のシステムだけが検出され、Windows NTのシステムが検出されないのは、なぜですか？

解決策：Windows NTとWindows 2000の両方をサポートするコンポーネントを選択しても、検索は、検索作成時にコンポーネントを選択したオペレーティング システム ツリーに一致するシステムしか検出しません。この例では、基本エージェントfor Windowsを基準ツリーのWindows 2000ブランチから選んだ場合、Windows 2000システムだけが検出されます。Windows 2000とWindows NTの両方のシステムを検出する場合は、Windows 2000およびWindows NTブランチから基本エージェントfor Windowsを選択してください。

バージョン コントロール エージェント単体での機能は何ですか？

解決策：バージョン コントロール エージェントはローカル サーバにインストールされているHP Webベース システム マネジメント ソフトウェアとファームウェアの一覧を提供します。バージョン コントロール エージェントがバージョン管理とソフトウェア分配の機能を提供するには、バージョン コントロール レポジトリ マネージャを参照するように設定する必要があります。

HPでは将来のリリースで、サイレントで、またはユーザの操作なしでインストールされないコンポーネントのインストール アイコンを無効にする予定がありますか？

解決策：はい、あります。

バージョン コントロール エージェントやバージョン コントロール レポジトリ マネージャは、システム マネジメント ホームページの[Integrated Agents]リストの下リンクとして表示されますが、システム マネジメント ホームページの[ホーム]タブのバージョンコントロールカテゴリにはこれらのアプリケーションは表示されないか、カテゴリ自体が表示されません。[Integrated Agents]の下リンクをクリックすると、**"The application is not available"**というメッセージを含むページが表示されます。

解決策：Windowsでは、関連付けられたWin32サービスを停止します。サーバ上のHPバージョンコントロールエージェントまたはHPバージョンコントロールレポジトリ マネージャのWin32サービスを再起動する必要があります。サービスが自動で開始されるように設定されていない場合は、サービスが自動で開始されるように設定してください。サービスが、予測しないタイ

ミングで停止する場合は、[Windows NT イベント ログ]とアプリケーション ログを調べて、詳しい情報を確認してください。

Linuxでは、関連付けられたバージョン コントロール エージェントデーモン プロセスを停止し、[root]ユーザで`/etc/init.d/hpvc restart`を実行して、バージョンコントロール エージェントデーモンを再起動してください。

サービスおよびサポート

サービスおよびサポート

HPバージョン コントロール エージェントに対するサポートは、基本となるハードウェアのサポートの補助として提供されています。HPサポートページの目的は、各種の製品、サービス、およびサポート関連リソースを提供することです。特に、以下の目的でこのページを使用できます。

- <http://www.hp.com/jp/servers/manage/>を参照してください。このWebサイトは、システム管理製品専用です。このサイトには、豊富な製品情報やサービス関連情報が掲載されています。
- HPのサポート ホーム ページやWebサイトにアクセスしてください。電話番号、オンライン ツール、および情報が掲載されています。
- HP製品についてのご質問は、HPサポート フォーラムにお問い合わせください。HPサポート フォーラムのURL（英語）は、次の場所にあります。

<http://forum.compaq.com>

各自の設定を詳しく記録しておくこと、トラブルシューティングプロセスを大幅にスピードアップできます。HPのサービス窓口からサポートを受ける場合は、以下を参照してください。

- 管理PCのメーカー、モデル、およびシリアル番号情報
- バージョン番号、適用されたすべてのService Packのリスト、HP PSPのバージョン、および適用されたInsightマネジメント エージェントの名前とバージョンなどの、オペレーティング システム情報
- ハードウェア設定情報
 - Surveyユーティリティの出力、またはHP Insight Diagnosticsからの出力、または[システムの参照(Inspect)]の印刷出力
 - システム コンフィギュレーション ユーティリティの印刷出力
 - [システムの参照 (Inspect)]ユーティリティまたは[システム コンフィギュレーション]ユーティリティの印刷出力に示されない、HP製およびコンパック製以外の装置の説明

Windows 2000/NT イベント

下の表は、バージョン コントロール エージェントに適用されるWindows 2000/NTイベントのリストを表示しています。

イベントID	ファシリティ	深刻度	説明
28	アプリケーション	情報	インストレーションタスクは成功しました。バージョンコントロールエージェントログURL
53	アプリケーション	情報	コンフィギュレーションタスクは成功しました。バージョンコントロールエージェントログURL
60	アプリケーション	情報	バージョンコントロールエージェントは開始されました（通常開始）。
65	アプリケーション	情報	バージョンコントロールエージェントWin32サービスが停止しました。
208	アプリケーション	エラー	インストレーションタスクは失敗しました。バージョンコントロールエージェントログURL
503	アプリケーション	エラー	コンフィギュレーションタスクは失敗しました。バージョンコントロールエージェントログURL
604	アプリケーション	エラー	バージョンコントロールエージェントWin32サービスを正常に開始できませんでした。

関連トピック

- ホーム [23]
- ログ [33]
- ソフトウェアのナビゲート [23]

用語集

HP Insightマネジメント エージェント	ユーザが直接その場にいらなくても、定期的に情報を収集し、他のサービスを実行するプログラム。
HP Systems Insight Manager	<p>HPシステム、クラスタ、デスクトップ、ワークステーション、ポータブルなど、さまざまなシステムを管理できるシステムマネジメント ソフトウェア。</p> <p>HP Systems Insight Managerは、HP Insightマネージャ7、HP Tootools、HP Servicecontrol Managerの長所を組み合わせで設計された単一のツールで、Windows、Linux、HP-UXを実行するHP ProLiant、Integrity、HP 9000システムの管理に使用できます。コアHP Systems Insight Managerソフトウェアは、すべてのHP製サーバプラットフォームの管理に必要な必須機能を提供します。また、HP Systems Insight Managerは、HP製ストレージ、電源、クライアント、プリンタ製品用のプラグインを使用することにより、機能を拡張できます。この機能拡張によって、これらの製品を含んだ非常に広範なシステム管理が可能になります。迅速な配備、性能管理、および作業負荷管理用のプラグインも用意されているため、システム管理者は、現在保有しているハードウェア資産の完全なライフサイクル管理実現に必要な付加価値ソフトウェアをピックアップできます。</p>
HP Webベース システム マネジメント ソフトウェア	HP製Web対応製品を管理するソフトウェア
HPバージョン コントロール エージェント	サーバにインストールされたHPのソフトウェアをユーザが確認できるようにするために、そのサーバにインストールされているInsightマネジメントエージェント。バージョンコントロール エージェントは、バージョン コントロール レポジトリ マネージャに管理されているレポジトリを参照するように設定できるため、バージョンの比較や、レポジトリからそのバージョン コントロール エージェントがインストールされているサーバへのソフトウェアのインストールが簡単になります。
HPバージョン コントロール レポジトリ マネージャ	バージョンコントロール レポジトリと呼ばれるディレクトリ/レポジトリに格納されたHPのソフトウェアを、ユーザが管理できるようにするInsightマネジメント エージェント。
ProLiant Support Pack	<p>ProLiant Support Pack、Integrity Support Pack、またはユーザ定義ソフトウェアベースラインは、HPによって1つにバンドルされ、特定のオペレーティング システムで動作することが確認されたHPのソフトウェア コンポーネントのセットです。</p> <p>ProLiant Support Packには、ドライバコンポーネント、エージェント コンポーネント、およびアプリケーションとユーティリティのコンポーネントが含まれています。これらはすべて一緒にインストールできることが確認されています。</p>
Red Hat Package Manager (RPM)	強力なパッケージマネージャで、個々のソフトウェアパッケージをビルド、インストール、クエリ、確認、アップデート、およびアンインストールするために使用できます。パッケージ

	は、ファイルのアーカイブと、名前、バージョン、説明などのパッケージ情報で構成されます。
Support Packのバージョン	バージョン コントロール エージェントがベースラインとして使用するよう設定されているリファレンス サポート パックに含まれるHPの特定のソフトウェアのバージョンを表示するフィールド。レポジトリ内には表示されたものよりも新しいバージョンのソフトウェアがあるかもしれませんが、リファレンス サポート パック内では、これが特定のコンポーネントの最新バージョンです。
インストールされているバージョン	バージョン コントロール エージェントがインストールされているサーバにインストールされたHPの特定のソフトウェア コンポーネント。
エージェント設定のレプリケート	Webベースのエージェントの設定を、システムのグループにコピーするために使用できるツール。
簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP)	HP Systems Insight Managerによってサポートされている管理プロトコルの一つ。従来から、ネットワークシステムおよびサーバによって広く使用されている管理プロトコルです。MIB-2は、すべてのベンダ間で一貫して使用できる標準情報です。
グラフィカル ユーザ インタフェース (GUI)	コンピュータのグラフィック機能を利用して、プログラムを簡単に使用できるようにするプログラム インタフェース。HP Systems Insight ManagerのGUIはWeb対応であり、Webブラウザ内に表示されます。
コンポーネント	インストール（対話式またはサイレント インストール）可能な単一の自己記述バイナリファイルで、ファームウェアイメージ、ドライバ、エージェント、ユーティリティなど、マネジメントツールやアップデートツールでサポートされるソフトウェアを含みます。
最新バージョン	レポジトリに格納されているHPの特定のソフトウェア コンポーネントの最新バージョン。
シングル ログイン	管理対象システムごとに再認証を受けなくても、HP Systems Insight Managerから任意の管理対象システムにアクセスできるように、HP Systems Insight Managerにアクセスしている認証済みユーザに与えられる権限。HP Systems Insight Managerは最初の認証ポイントであり、他の管理対象システムにはHP Systems Insight Managerからアクセスする必要があります。
セキュア タスク実行 (STE)	管理対象システムからのタスクの安全な実行。HP Systems Insight Managerのこの機能により、タスクを要求するユーザが、そのタスクを実行するための適切な権限を持っていることが保証されます。また、データを盗聴から保護するために、要求が暗号化されます。
全体のソフトウェア ステータス	このセクションは、バージョン コントロール エージェントをインストールしたサーバ上のソフトウェアに、監視するように設定されたレポジトリ内に利用できる更新があるかどうかを示します。

ソフトウェア インベントリ	バージョン コントロール エージェントがインストールされているシステムにインストールされているHPのソフトウェアの一覧。
バージョン コントロール	<p>ユーザ システムのHPオペレーティング システム ドライバ、HP Systems Insight Managerエージェント、HPユーティリティ、およびファームウェアのバージョンを確認する機能。最新のソフトウェアとファームウェアのバージョンを記録したバージョン コントロール データベース (VCDB) とユーザ システムのバージョンを比較します。この結果、バージョン コントロールは、ソフトウェアが最新の場合はそのことを示します。また、アップグレードが使用可能な場合は、そのことを示し、その理由を提供します。</p> <p>バージョン情報は、システムのシステム リンクとして表示されます。</p>
利用可能なソフトウェア	バージョン コントロール エージェントが参照するように設定されているレポジトリ内の利用可能なソフトウェア コンポーネントの一覧。バージョン コントロール エージェントに直接アクセスすると、これらの追加コンポーネントを選択してインストールできます。
レポジトリ	ProLiant Support PackおよびSmartコンポーネントを格納しているディレクトリ。
システム マネジメント ホームページ	HTTPおよびHTTPS経由で通信するHPのHP Webベース システム マネジメント ソフトウェアで使用されるソフトウェアの統合セット。HP Webベース システム マネジメント ソフトウェアに一定の機能とセキュリティのセットを提供します。
バージョン コントロール エージェント ログ	バージョン コントロール エージェントによって実行されたすべてのソフトウェア メンテナンス タスクの一覧、およびこれらのタスクの実行結果のレポート。
ユーザ定義ソフトウェア ベースライン	ユーザによって、ベースラインとしてバンドルされたHPのソフトウェア コンポーネントのセット。既存のサポート パックの内容を変更することにより、ユーザは、使用環境に適した独自のベースラインを定義できます。
リファレンス サポート パック	バージョン コントロール エージェントがレポジトリ内で参照するように設定できるHPのソフトウェアのバンドルされたベースライン製品。この設定により、ユーザは使用しているソフトウェアをすべて、特定のサポート パック レベルに更新するかどうかを指定できます。

索引

H

HPバージョン コントロール エージェント
 Apache software license, 7
 GNU general public license, 10
 ProLiant Support Packの詳細の表示, 28
 Windows 2000/NTイベント, 48
 インストールされているソフトウェアの表示, 26
 インストール済みソフトウェアの印刷, 32
 インベントリ データのリフレッシュ, 32
 エージェント設定の変更, 29
 開始するには, 19
 製品情報, 4
 全体のソフトウェア ステータス アイコン, 25
 全体のソフトウェア ステータス, 24
 ソフトウェア ステータスの印刷, 32
 ソフトウェアのインストール, 31
 ソフトウェアの更新, 31
 ソフトウェア ライセンス, 6
 単一のログ エントリの詳細表示, 34
 ナビゲート, 23
 ホーム, 23
 レポジトリで利用可能な追加のアイテムの表示, 29
 ログ, 33
 ログの消去, 35
 ログの設定の変更, 36
 ログの表示, 33
 エージェント設定のレプリケート, 4
 リファレンス サポート パック, 28
ログ
 HPバージョン コントロール エージェント設定の変更, 29

P

ProLiant Support Pack
 詳細の表示, 28

か

開始するには
 HPバージョン コントロール エージェント, 19
概要
 HPバージョン コントロール エージェント全体のソフトウェア ステータス, 24

せ

全体のソフトウェア ステータス
 ステータス アイコン, 25

ち

著作権, 5

と

登録商標, 5
トラブルシューティング
 参照, 48
 バージョン コントロール エージェント, 38
 バージョンコントロールレポジトリ マネージャ, 38

な

ナビゲート
 HPバージョン コントロール エージェント, 23

ほ

法的な注意事項, 5
ホーム
 HPバージョン コントロール エージェント, 23
保証, 5

ら

ライセンス
 HPバージョン コントロール エージェント, 6
 HPバージョンコントロールエージェント - Apache software license, 7
 HPバージョン コントロール エージェント - GNU general public license, 10

り

リリース履歴, 5

ろ

ログ
 HPバージョン コントロール エージェント, 33
 Windows 2000/NTイベント, 48
 ログの消去, 35
ログ
 HPバージョン コントロール エージェントログの設定の変更, 36